

川へ行こう！ 川を楽しもう！



かわたび
ぼっかいどう

Abashiri River

かわたび北海道 (網走川の150年のふりかえり)



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary



かわたび北海道の取り組み

四季折々の川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等の川に関する情報を効果的に発信するなどし、地域住民や観光客の水辺利用や周遊等をサポートするとともに、地域の取り組みのネットワーク化を図り、地域の賑わいづくり・観光振興に貢献する「かわたび北海道」プロジェクトを推進します。

網走川の歴史を振り返り、見所を紹介します。



桜づつみ



網走サマーイルミネーション



オホーツクサイクリング大会

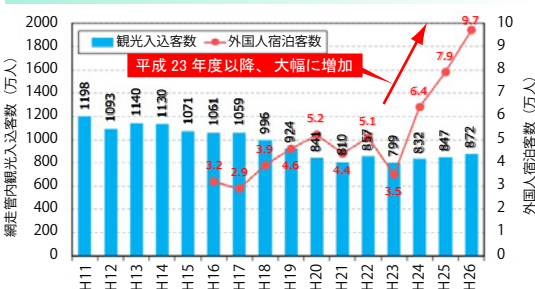


流氷観光砕氷船おーろら号



水辺プラザ（タナバタイム）

網走管内の観光入込客数は近年回復傾向で、外国人宿泊客数は大幅に増加しています。



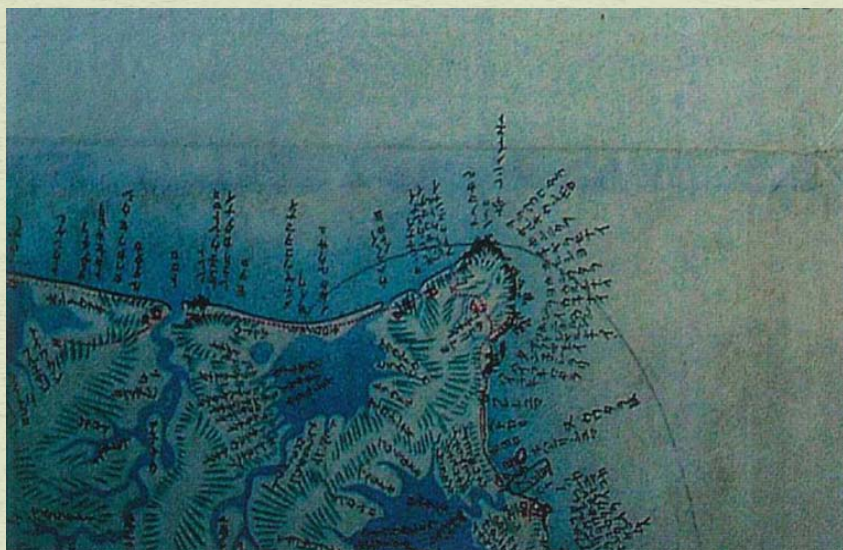
出典：「オホーツク管内観光入込客数及び外国人宿泊客数について」
(北海道オホーツク総合振興局観光室)

開拓の初期【江戸時代】

- 幕末の探検家である松浦武四郎は、弘化 2（1845）年より安政 5（1858）年にかけて箱館奉行所（江戸幕府）から蝦夷山川地理取調を命じられ、6 度に渡って蝦夷地内陸探検に訪れました。
- 明治 2（1869）年には、本道はかつて「蝦夷地」と呼ばれていましたが、武四郎の提案もあり太政官布告によって「北海道」と命名されました。
- この年に北見国が誕生したのですが、北見国の区域は、かつての宗谷・斜里場所の範囲で、晴天の日には樺太が見えることから、松浦武四郎が命名したものでした。
- 平成 30 年（2018 年）は「北海道」と命名されて 150 年になります。



幕末の探検家
松浦 武四郎



松浦武四郎が作成したトコロ・アバシリ地方の地図
（北海道立文書館蔵）

網走川流域への入植【明治初期～明治後期】

- 明治5年に網走郡出張開拓使（後の網走支庁）が設けられ、近代化の第一歩を踏み出しました。
- しかし、来住者の多くは漁業労働者が占め、農業目的での入植は極めて少なく、開拓は遅れていました。
- 河川の流域に沿って駅逓が存在し、番屋は古くから駅逓の性格を持っていました。網走川河口の藤野屋の番屋は、明治5（1872）年に網走駅逓となり、これを基点として交通の要所に駅逓が順次設置されるようになりました。



藤野盛衰記

藤野の繁栄は明治期に場所請負が漁場持に改められてからも引き継がれ、網走では漁場をはじめ、運輸、缶詰製造、みそ醸造、牧場経営に足跡を残し、藤野屋から戸長・総代を出して行政事務を補助し、敷地内に警察分署・駅逓・郵便局・学校を設置したことが知られています。

また、斜里山道の切り替え、能取山道の改修などに多くの自費を投入、明治4年（1871）には網走川に長さ100間を超える架橋を自費で成し遂げました。これが初代・網走橋の木橋であり、その後の定住者に利便を与えました。



藤野宅地図

明治12年に調査したものを同18年にこのように改めました。一番地に弁天社、四番地に藤野支店、五番地が官用地で都役所。病院がありその他には倉庫が建ち並んでいました。

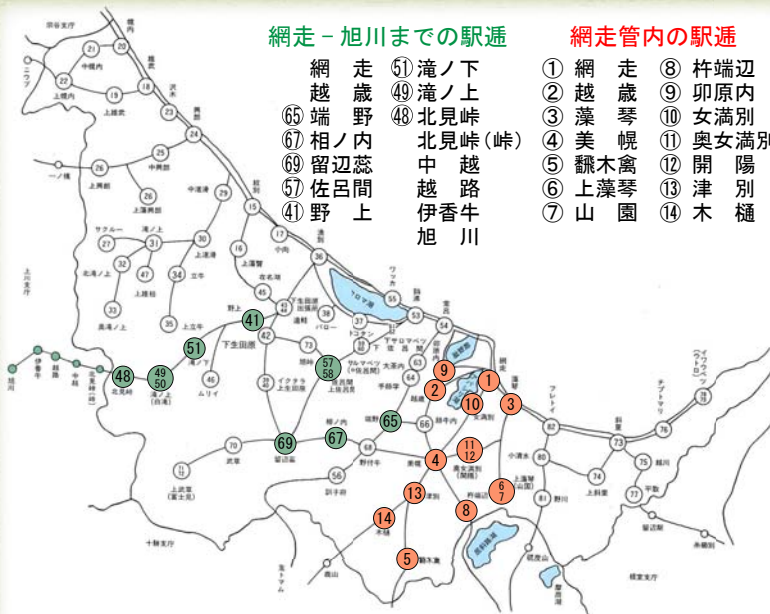
- 明治 20 (1887) 年に、美幌に戸長役場ができ、美幌原野の開墾が進められました。
- 明治 33 (1900) 年網走郡の中心部に位置する美幌に美幌駅通が開設されました。
- その後、釧路・阿寒・十勝・足寄の両ルートを結ぶ地点に位置する津別には、明治 38 (1905) 年に津別駅通が誕生して、これらの駅通が、開拓時代に果たした役割は大きく、村落形成の中核的役割を果たしました。

網走 - 旭川までの駅通

- 網走 ⑤① 滝ノ下
- 越歳 ④⑨ 滝ノ上
- 端野 ⑥⑦ 北見峠
- 相ノ内 ⑥⑦ 北見峠(峠)
- 留辺蕊 ⑥⑨ 中越
- 佐呂間 ⑤⑦ 越路
- 野上 ④① 伊香牛
- 旭川

網走管内の駅通

- ① 網走 ⑧ 杵端辺
- ② 越歳 ⑨ 卯原内
- ③ 藻琴 ⑩ 女満別
- ④ 美幌 ⑪ 奥女満別
- ⑤ 翻木禽 ⑫ 開陽
- ⑥ 上藻琴 ⑬ 津別
- ⑦ 山園 ⑭ 木樋



昭和初期までに設置された官設駅通 (田崎勇の資料より)

白楊材と網走川

地域の林業に先鞭をつけたのは、外国輸出用のマッチ軸木製造を計画した福井県人山田慎でした。

明治 23 年 (1890) 網走川流域の原料白楊を 10 ヲ年間一手払下げの許可を受けた彼は、同 24 年 (1891) 山田製軸工場を落成させ創業を開始しました。

白楊材の原木を網走川上流地域に頼り、伐採された原木は筏に組まれて網走川を下り、その数量は大変なもので、明治 30 (1897) 年ころからは現在の美幌町から、以降は津別町からも筏に組まれて製軸工場に運ばれました。



木材流送風景 (明治末頃)



流送のため障害物除去作業 (明治の末、美幌町昭野付近)



主な洪水と治水計画

大正 11 年 8 月洪水 (台風)

- ・流量：推定：1,200m³/s
- ・流域平均雨量：161mm/24h
- ・被害家屋：381 戸、田畑浸水：2,500ha

昭和 9 年 北海道第 2 期拓殖計画の一環として治水工事着手 (~S21 了)

- ・計画高水流量：4 万立方尺 (1,111m³/s)
- ・美幌町市街部から網走湖流入地点までの捷水路の開削、築堤等を実施

昭和 10 年 8 月洪水 (台風)

- ・流域平均雨量：89mm/24h
- ・家屋浸水：176 戸、田畑浸水：1,233ha
- ・橋梁：流出 10 箇所

昭和 23 年 8 月洪水 (前線)

- ・流域平均雨量：69mm/24h
- ・家屋浸水：102 戸、田畑浸水：676ha
- ・橋梁：流出破損 30 箇所

昭和 44 年 1 級河川に指定

昭和 45 年 工事実施基本計画策定

- ・計画高水流量：1,200m³/s

昭和 54 年 10 月洪水 (台風)

- ・流量：310m³/s
- ・流域平均雨量：96mm/24h
- ・被害家屋：89 戸、氾濫面積：795ha

平成 4 年 9 月洪水 (台風)

- ・美幌地点流量：870m³/s (戦後最大)
- ・流域平均雨量：130mm/24h
- ・被害家屋：322 戸、氾濫面積：9,585ha

平成 10 年 8 月洪水 (前線)

- ・美幌地点流量：430m³/s
- ・流域平均雨量：117mm/24h
- ・被害家屋：15 戸

平成 13 年 9 月洪水 (台風)

- ・美幌地点流量：640m³/s
- ・流域平均雨量：135mm/24h
- ・被害家屋：1 戸、氾濫面積：1,124ha

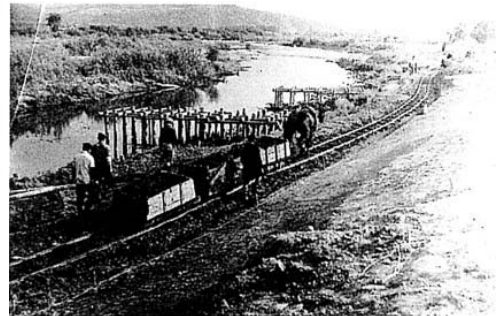
平成 18 年 4 月 河川整備基本方針策定 (美幌基準地点計画高水流量 1,200m³/s)

平成 18 年 10 月洪水 (低気圧)

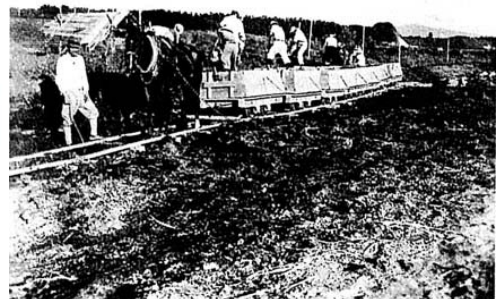
- ・美幌地点流量：600m³/s
- ・流域平均雨量：139mm/24h
- ・被害家屋：10 戸、氾濫面積：246ha



西 3 号道路踏切付近の田畑冠水状況
(美幌町・昭和 10 年 8 月)



トラック運搬 (馬力) の様子



人力積込の様子

※流量、流域平均雨量は美幌地点



網走川の変遷とまちの発展

網走川上流部の治水対策

【網走川新水路掘削工事】

- 明治 42 年洪水、大正 8 年、9 年と続く大洪水を契機に、大正 10 年 8 月ようやく、待望の治水工事が着工されました。
- 網走川の治水工事は、昭和 9 年から本格的に開始し、これまでに捷水路開削、河道掘削、堤防整備等を進めてきました。
その結果、湿地帯の土地利用が可能となり、農地、市街地へと発展しました。
- その後、網走湖下流域では、堤防整備（矢板護岸）、中流域及び下流域では捷水路開削、河道掘削、堤防整備を中心に工事を実施しました。

・これまでの治水対策（大正 13 年～昭和 29 年、昭和 29 年～平成 21 年）



- 大正元年に網走駅が建設され、網走本線が開通しました。
- 昭和 3 年から昭和 6 年の間で網走駅は現在の位置に移設されましたが、当時は駅周辺は土地が狭く、町の発展に支障があり、網走川を埋め立て、道路や市街地が形成されて現在に至っています。





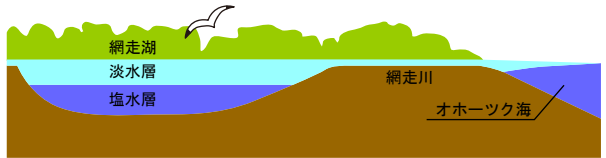
網走湖の水質改善対策

網走川大曲堰の整備

- 網走湖では、昭和 62 年に青潮が発生し、平成元年にはアオコが大量発生したことを契機として、網走湖の水環境を改善するための検討が行われてきて、現在、流域一体となって対策を推進しています。
- このうち、網走川大曲堰は、海水が流入することにより冬期間の塩淡水境界層の上昇を抑制することで、青潮の発生やアオコ発生の抑制を図ることを目的に整備され、平成 25 年 10 月に完成しました。
- 平成 26 年 1 月から冬期間のみ大曲堰の運用を行っており、青潮の発生抑制等の効果が確認されています。



網走川大曲堰による海水の流入抑制状況



網走湖の模式図



網走かわまちづくり

網走川の水辺整備

- 網走市街地を貫流する網走川沿いには観光・交流施設が点在し、河川敷では多くのイベント等が開催されています。
- 網走市では、まちづくりと一体となった水辺利用を推進するため「網走かわまちづくり検討会」が設置され、平成 28 年 3 月 28 日に「網走かわまちづくり計画」が登録されました。
- 網走市のまちづくりと連携し、河川管理用通路（散策路）等の整備を実施することにより、網走川沿いの賑わい創出、地域の活性化を期待しています。



整備イメージ（管理用道路）



整備イメージ（取付道路）



網走川治水対策によるストック効果

- 流域では、全国でも高い漁獲量を誇るシジミやワカサギ、シラウオ等を対象とした内水面漁業が網走湖を中心に行われ、海域ではサケやホタテ等を対象とした漁業が行われ全国有数の漁獲量を誇っています。
- 網走湖は大曲堰によって、塩淡水境界を制御することで水質改善、漁獲の安定を図っています。

塩淡水境界を制御
網走湖の水質改善で
漁獲の安定に期待



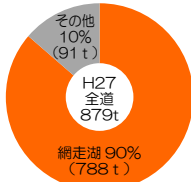
土木学会北海道支部
技術賞を受賞

ぜき
大曲堰



シジミ

北海道のシジミ漁業を支えるのは圧倒的に網走湖！
全道のおよそ90%



ワカサギ

ワカサギの卵を網走湖から全国へ！
供給先は道内 20 箇所、
道外 44 箇所（18 県）



採卵作業

出典：網走市水産統計、北海道立総合研究機構さけます内水面水産試験場事業報告書



網走川の流域概要

流域面積 : 1,380km²
 (全国 48 位 / 109 水系)
 幹川流路延長 : 115km
 (全国 42 位 / 109 水系)
 流域内人口 : 約 4.9 万人
 関係市町村 : 網走市、大空町
 美幌町、津別町

網走市まで約 22km
 車で 30 分程度

女満別空港
 からの
 アクセス

大空町まで約 5km
 車で 7 分程度

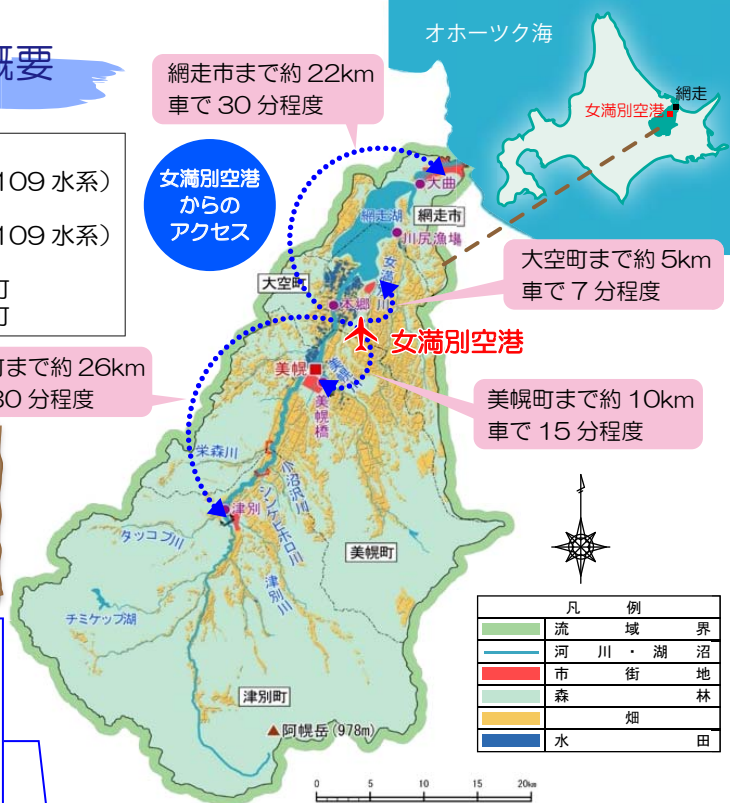
津別町まで約 26km
 車で 30 分程度

美幌町まで約 10km
 車で 15 分程度

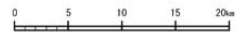
「北海道の地名」によれば網走(あばしり)川という名は、アイヌ語の「ア・バ・シリ」(我らが・見つけた・土地)あるいは「アパ・シリ」(入口の・地)に由来していると言われています。

道の駅「流水街道網走」

オホーツクサイクリングステーション



凡 例	
	流域 界
	河 川 ・ 湖 沼
	市 街 地
	森
	畑
	水 田



ぼぼ260防波堤

川筋緑地

港町緑地

帽子岩緑地

帽子岩

モヨロ貝塚館

オホーツク海

オホーツク文化交流センター/
 エコセンター2000/水辺プラザ

川向緑地

JR桂台駅

網走護国神社

網走神社

網走市立郷土博物館

網走市立美術館

apt. 4 網走中央商店街

網走バスターミナル

中央公園

JR網走駅

オホーツク海を一望!
 岬周遊コース

至 能取岬

網走川河畔公園

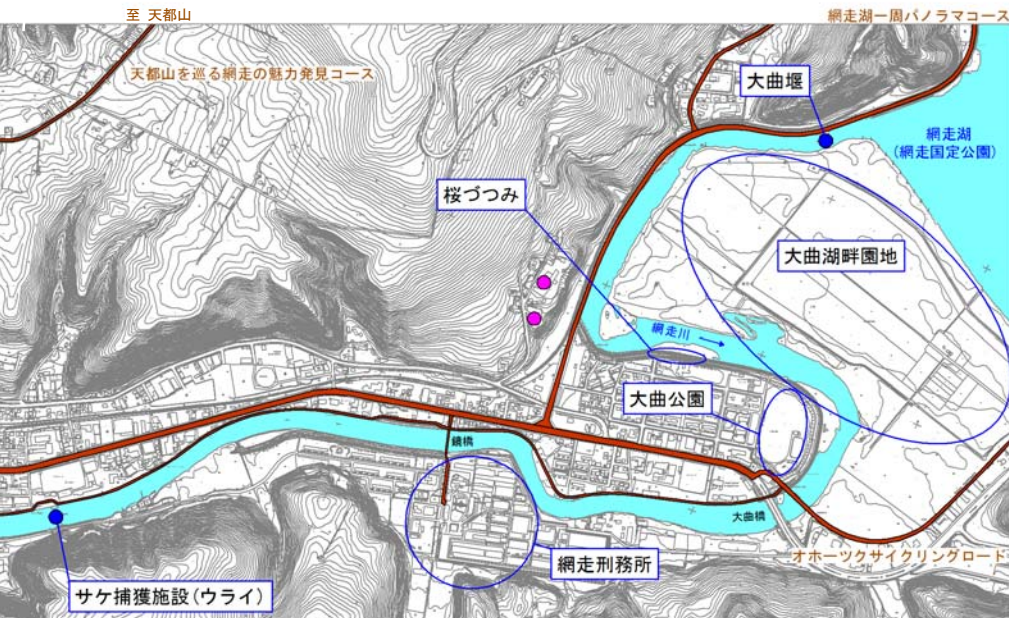
- オホーツク地域のサイクリングツーリズムを進めるため、北見市、網走市、大空町が中心となり「オホーツク地域サイクリングブランド化推進協議会」を平成29年4月に設立しました。
- この協議会には、北見サイクリング協会、網走サイクリング協会のほか、オブザーバーとして、網走開発建設部等が参画しています。

網走川・網走湖周辺の主な映画ロケ地



作品名(公開年)	ロケ地	主なロケ場所
愛と悲しみの彼方へ (1951)	網走市・美幌町	網走刑務所、美幌駅前
北海の虎 (1953)	網走市	網走港埠頭、網走神社他
新日本珍道中 (1958)	網走市	天都山、原生花園
人間の条件 (1959)	網走市	トウフツ湖、原生花園
大氷原 (1962)	網走市	赤灯台付近
網走番外地 (1965)	網走市	藻琴駅、網走刑務所、呼人駅
男はつらいよ 寅次郎忘れな草 (1973)	網走市・美幌町	網走橋、川筋地区、網走駅など
幸福の黄色いハンカチ (1977)	網走市	網走駅前、モヨロ海岸、原生花園など
エル・オー・ヴィ・愛・N・G (1983)	網走市	市内、原生花園
「夢」第五話・鴉 (1990)	大空町女満別	朝日ヶ丘展望台付近、メルヘンの丘
刑務所の中 (2002)	網走市・美幌町	博物館網走監獄、美幌町河川敷
スパイ・ソルゲ (2003)	網走市	博物館網走監獄
子ぎつねヘレン (2006)	網走市・小清水町	呼人、明治、能取岬、止別駅など
遠くの空に消えた (2007)	網走市・美幌町	網走旧丸万小学校、能取岬付近など
非誠勿擾 (2009)	網走市・斜里町	能取岬、北浜駅、斜里国保病院など
南極料理人 (2009)	網走市	能取岬
トリコノシティ (2017)	網走市	博物館網走監獄、能取岬
風の色 (2018)	網走市・斜里町	市内、能取岬
北の桜守 (2018)	網走市ほか	網走駅前

※ 網走市立図書館の視聴覚コーナーでDVD等の視聴ができます。



レンタサイクル

【貸し出し場所】 道の駅「流水街道網走」内 観光案内所
 お問い合わせ先 / (社) 網走市観光協会 TEL:0152-44-5849
<http://hokkaido-okhotsk-cycle.com/station/index.html>

— 既存のサイクリングコース
 ● 主な宿泊施設

